平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場会社名　北興化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4992　URL　http://www.hokkochem.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中島　喜勝
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長　(氏名) 渡辺　英夫　TEL 03-3279-5152

四半期報告書提出予定日　平成25年7月12日　配当支払開始予定日　平成25年8月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	21,159	△3.0	567	△14.7	753	47.9	418	333.3
24年11月期第2四半期	21,814	△4.0	665	△4.8	509	△3.3	97	△54.3

(注)包括利益　25年11月期第2四半期　1,296百万円　(―%)　24年11月期第2四半期　△3百万円　(△101.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	15.16	―
24年11月期第2四半期	3.50	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第2四半期	45,179	14,487	32.1
24年11月期	41,750	13,302	31.9

(参考) 自己資本　25年11月期第2四半期　14,487百万円　24年11月期　13,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	―	4.00	―	4.00	8.00
25年11月期	―	4.00			
25年11月期(予想)			―	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月 1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,620	4.4	1,290	82.2	1,150	63.2	660	365.3	23.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期2Q	29,985,531 株	24年11月期	29,985,531 株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	2,401,260 株	24年11月期	2,396,987 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期2Q	27,586,474 株	24年11月期2Q	27,594,093 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）セグメント情報等 ……10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の下げ止まりや製造業を中心に企業収益が改善するなど、着実な持ち直しの動きが見られました。また、円安・株高の影響や政府の経済政策への期待感などにより消費者マインドの改善が続く中、個人消費についても堅調に推移いたしました。

国内農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、後継者不足や耕作放棄地の増加など構造的な問題を抱え厳しい状況が続いています。これに対し政府では「農林水産業・地域の活力創造本部」において「農林水産物の輸出倍増戦略」・「付加価値を増大させる６次産業化市場の拡大」・「農地集積による農業の構造改革の推進」の方針のもと、ＴＰＰへの交渉参加を踏まえて日本農業の競争力強化を目的としたプラン策定のための議論が進められています。

このような状況のもと、当社グループは積極的な販売に努めましたが、農薬事業における水稲除草剤の販売不振やファインケミカル事業における国内需要の低迷の影響などにより、全体の売上高は211億５千９百万円（前年同期比６億５千４百万円の減少、同3.0％減）となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、売上高の減少により５億６千７百万円（前年同期比９千８百万円の減少、同14.7％減）となりました。

経常利益につきましては、為替差益の大幅な増加により７億５千３百万円（前年同期比２億４千４百万円の増加、同47.9％増）、四半期純利益につきましては、前期に発生した法人税等の減税に伴う一時的な税金費用がなくなり、４億１千８百万円（前年同期比３億２千２百万円の増加、同333.3％増）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品の国内販売は、園芸用殺菌剤が伸長しましたが、水稲用除草剤の販売不振の影響により減収となりました。利益面では製造コストの削減や販売費及び一般管理費の節減により増益となりました。この結果、本セグメントの売上高は158億３千１百万円（前年同期比６億４千２百万円の減少、同3.9％減）、営業利益は７億４千７百万円（前年同期比７千８百万円の増加、同11.6％増）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、樹脂添加剤や医農薬中間体では前年同期を上回りましたが、電子材料原料やその他の事業分野において受注が低調に推移したことから、全体でほぼ前年同期並みとなりました。利益面では第１四半期に子会社（張家港北興化工有限公司）が製造設備の定期修理を実施した結果、工場稼働率の低下に伴って製造コストが増加したことなどにより減益となりました。この結果、本セグメントの売上高は52億６千６百万円（前年同期比５百万円の減少、同0.1％減）、営業利益は１億３千９百万円（前年同期比１億９千８百万円の減少、同58.7％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における資産の残高は451億７千９百万円となり、前連結会計年度末比34億２千９百万円の増加となりました。これは、農薬の需要期となる上半期の季節的変動による受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債の残高は306億９千２百万円となり、前連結会計年度末比22億４千５百万円の増加となりました。これは、上記売上債権等の季節的変動に伴う短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は144億８千７百万円となり、前連結会計年度末比11億８千５百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加およびその他有価証券評価差額金の増加が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、27億２千２百万円の支出超過（前年同期は14億７千１百万円の支出超過）となりました。これは、主に未払費用の減少ならびに農薬の需要期となる上半期の季節的変動による売上債権の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、９億７千１百万円の支出超過（前年同期は９億円の支出超過）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、36億２千２百万円の収入超過（前年同期は26億４千２百万円の収入超過）となりました。これは、主に短期借入金の増加および長期借入金の調達によるものです。

（現金及び現金同等物の四半期末残高）

現金及び現金同等物の四半期末残高は期首残高より１億１千１百万円増加し、12億９百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期決算発表時（平成25年１月15日）に公表いたしました通期連結業績予想に変更ありませんが、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年11月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098	1,209
受取手形及び売掛金	13,195	16,168
商品及び製品	9,520	8,319
仕掛品	207	253
原材料及び貯蔵品	3,712	4,575
繰延税金資産	671	447
その他	308	295
流動資産合計	28,711	31,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,654	4,800
機械装置及び運搬具（純額）	3,245	3,279
土地	777	777
その他（純額）	288	375
有形固定資産合計	8,965	9,232
無形固定資産		
ソフトウエア	20	31
その他	440	588
無形固定資産合計	460	619
投資その他の資産		
投資有価証券	2,003	2,793
繰延税金資産	1,242	920
その他	381	362
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	3,614	4,063
固定資産合計	13,038	13,913
資産合計	41,750	45,179

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年11月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年５月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,996	7,092
短期借入金	5,789	9,649
1年内返済予定の長期借入金	2,267	2,206
未払法人税等	100	86
未払費用	3,820	2,304
その他	1,911	1,640
流動負債合計	20,883	22,978
固定負債		
長期借入金	3,556	3,681
退職給付引当金	3,815	3,815
資産除去債務	62	62
その他	130	156
固定負債合計	7,564	7,714
負債合計	28,447	30,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	7,983	8,291
自己株式	△995	△996
株主資本合計	12,811	13,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	691	1,201
繰延ヘッジ損益	9	23
為替換算調整勘定	△209	146
その他の包括利益累計額合計	491	1,369
純資産合計	13,302	14,487
負債純資産合計	41,750	45,179

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年12月１日 至　平成25年５月31日）
売上高	21,814	21,159
売上原価	17,011	16,556
売上総利益	4,803	4,603
販売費及び一般管理費	4,138	4,036
営業利益	665	567
営業外収益		
受取利息及び配当金	36	26
為替差益	8	319
受取手数料	85	103
その他	59	43
営業外収益合計	189	491
営業外費用		
支払利息	129	106
たな卸資産廃棄損	154	118
その他	61	81
営業外費用合計	345	304
経常利益	509	753
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	24	36
その他	－	0
特別損失合計	24	36
税金等調整前四半期純利益	485	719
法人税等	389	300
少数株主損益調整前四半期純利益	97	418
四半期純利益	97	418

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年12月１日 至　平成25年５月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	97	418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	510
繰延ヘッジ損益	△5	14
為替換算調整勘定	16	354
その他の包括利益合計	△99	878
四半期包括利益	△3	1,296
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3	1,296
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年12月１日 至　平成25年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	485	719
減価償却費	894	795
退職給付引当金の増減額（△は減少）	131	△1
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	7	5
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	－
受取利息及び受取配当金	△36	△26
支払利息	129	106
売上債権の増減額（△は増加）	△3,108	△2,946
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,380	368
仕入債務の増減額（△は減少）	514	62
未払費用の増減額（△は減少）	△1,441	△1,518
その他	△277	△179
小計	△1,323	△2,617
利息及び配当金の受取額	36	26
利息の支払額	△132	△108
法人税等の支払額	△57	△54
法人税等の還付額	5	30
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,471	△2,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△892	△781
有形固定資産の売却による収入	0	2
その他	△8	△192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△900	△971
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,402	3,736
長期借入れによる収入	1,300	1,297
長期借入金の返済による支出	△949	△1,298
配当金の支払額	△111	△110
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,642	3,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	182
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	272	111
現金及び現金同等物の期首残高	623	1,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	895	1,209

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ.前第２四半期連結累計期間(自　平成23年12月１日　至　平成24年５月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	農薬事業	ファインケミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,473	5,271	21,744	70	21,814	―	21,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	212	212	△212	―
計	16,473	5,271	21,744	282	22,026	△212	21,814
セグメント利益	669	337	1,006	22	1,028	△363	665

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△363百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△363百万円、未実現利益の調整額０百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ.当第２四半期連結累計期間(自　平成24年12月１日　至　平成25年５月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	農薬事業	ファインケミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,831	5,266	21,097	63	21,159	―	21,159
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	193	193	△193	―
計	15,831	5,266	21,097	256	21,353	△193	21,159
セグメント利益	747	139	886	12	898	△331	567

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△331百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△331百万円、未実現利益の調整額０百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。